



Taiwan Lectures on
Chinese Studies

臺灣漢學講座



第4回 台湾漢学講座

陳益源

國立成功大學特聘教授

臺灣中文學會理事長

《金雲翹傳》對世界的影響

(『金雲翹傳』の世界への影響)



十二月二十二日(木)
十五時〜十七時半

東京大学総合図書館大会議室

・本講座はハイブリッド開催です。会場・オンライン聴講ともに応募用フォームよりお申し込みください。どちらも無料です。
フォーム <https://forms.gle/8XL5ixgxrCerk6jYA>
・会場聴講は二十名です。定員に達し次第締め切ります。
・応募期間：十一月二十一日(月) 10時〜十二月十六日(金) 17時
・本講座は中国語で行います(日本語通訳あり)。
お問い合わせ 東京大学 TRCCS 委員会第四回台湾漢学講座開催担当

trccs.2022@gmail.com



主催

國家圖書館漢學研究中心

東京大学附属図書館台湾漢学リソースセンター (TRCCS)



國家圖書館
National Central Library
<http://www.ncl.edu.tw>



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



漢學研究中心
Center for Chinese Studies
<http://ccs.ncl.edu.tw>

講座内容紹介

オーストラリア国立大学の柳存仁 (Cunren Liu) 教授は、かつて陳益源『王翠翹故事研究』(簡体字版) に序文を寄せ、その末尾にこのように記した。「この陳益源先生のこの研究書を読み終えると、私たちは尋ねたくなる。結局のところ、『紅樓夢』の文学に対する貢献と、『金雲翹傳』の世界に対する影響と、どちらのほうが大きかったのか、と。今回の「台湾漢学講座」は、まさにこの問いについて陳益源教授が講演を行う。明末清初の青心才人の小説『金雲翹傳』の各地への影響にはじまり、ベトナムの阮攸 (1766-1820) が改編した叙事喃詩『金雲翹傳』を分析の核心にすえ、中国の『金雲翹傳』のベトナム化、ベトナムの『金雲翹傳』の地方化、国際化現象について考察する。このように、より広い角度から『金雲翹傳』の日本や台湾なども含む世界への影響を見据え、あわせて『紅樓夢』の文学への貢献とも比較検討を行う。

講師紹介

陳益源 (Chen Yi-Yuan ちん・えきげん)

台湾・国立成功大学中国文学中国文学系特別招聘教授。漢学研究センター指導委員会委員、台湾中文学会理事長を兼任。これまで国立成功大学中国文学科主任、人文社会科学センター主任、文化部付属台湾文学館館長、国立金門大学人文社会学部長などを歴任。専門は古典小説、民間文学、民俗学、閩南文化、ベトナム漢文学など。著書に、『元明中篇傳奇小説研究』、『從〈嬌紅記〉到〈紅樓夢〉』、『王翠翹故事研究』、『中越漢文小説研究』、『越南漢籍文獻述論』など20余冊、編著に『越南漢文小説集成』など60余冊あり、論文も200余篇公刊されている。受賞歴に、中国文芸協会の「文藝獎章」、ベトナム社会科学院 翰林院の「ベトナム社会文化貢獻獎章」、彰化県礪溪文学賞の「特別貢獻獎」などがある。

東京大学附属図書館台湾漢学リソースセンター (TRCCS)

台湾・国家図書館との協定にもとづき、東京大学附属図書館に2014年に設置された組織です。本「臺灣漢学講座」を実施するほか、国家図書館の提供するデジタルデータベースの導入、国家図書館からの図書寄贈受入れなどを行っています。受け入れた寄贈図書はアジア研究図書館(総合図書館4階)にて閲覧、貸出に供しています。



本講座に関するお問い合わせは

東京大学 TRCCS 委員会台湾漢学講座開催担当事務局

trccs.2022@gmail.com